

クオータリーレポート 2016年度 第1四半期



連結決算の概要

第1四半期は、ショッピングセンター事業の「売上高」の減少などにより減収減益

- 「売上高」は、専門店事業㈱ヌーヴ・エイの新規出店による売上増があったが、ショッピングセンター事業の㈱パルコが苦戦したことなどにより減収
- 2月に開業した㈱パルコの札幌ゼロゲートのフル稼働や、総合空間事業㈱パルコスペースシステムズの利益率の向上による寄与があったものの、「売上高」の減少などにより、「営業利益」は前年同期比3.9%の減益、「親会社株主に帰属する四半期純利益」は、12.2%の減益

2

経営からのコメント

2016年度第1四半期決算は、昨年冬からの個人消費の鈍化影響を受け、パルコ店舗の衣料品の売上不振が大きく第1四半期として2011年度以来の減収減益となりました。

前期の2016年2月にオープンした札幌ゼロゲートは今期の利益に貢献しており、さらに今期に貢献する新規店舗として、 7月に「仙台パルコ2」、秋に「広島ゼロゲート2」の開業を予定しています。

また今後の計画では、2017年、春に京都のゼロゲート開業、秋に上野への出店を計画しているほか、2019年度の開業を目指し、渋谷パルコを含むエリアでの都市再生特別地区の都市計画の具体的な策定を始めています。新生渋谷パルコを創造する本計画の進展にあわせ、建替えのために今期8月に一時休業します。

そのほか将来につながる施策として、これまでのシンガポールでの成功経験を活かした日系レストラン集積ゾーン 「itadakimasu by PARCO」をシンガポールで展開することが決定したのに加えて、渋谷パルコや名古屋パルコなどで成功 しているキャラクターとコラボした「ゲストカフェ」を5月に期間限定でシンガポールに出店するなど、海外事業が進捗しました。 この「ゲストカフェ」は、4月、国内ではパルコ店舗外で初めてとなる大阪の心斎橋に出店するなど、事業を拡大しています。

2016年度は中期経営計画の最終年度です。パルコグループは、新しい時代を先取りした積極的な戦略を進めるとともに、パルコの情報発信力と編集力をさらに強化し世界中のお客様が期待する魅力的な店づくりを続けてまいります。今後もパルコグループの活動にご注目ください。

新規店舗開業計画

2016

2017

2019

未定 三宮ゼロゲート(仮称)

仙台パルコ2 2016年7月1日開業予定 **京都ゼロゲート**(仮称) 2017年春開業予定 宇田川町15地区開発計画 2019年秋開業予定

広島ゼロゲート2

松坂屋上野店·新南館 内

2016年秋開業予定

2017年秋開業予定

4

決算ハイライト

					百万円
	2016年度	2015年度	増減額	前年同期比	2015年度
	1Q	1Q			
連結第1四半期					
売上高	¥ 68,208	¥ 70,620	¥ ▲2,412	96.6%	¥ 276,358
営業利益	3,231	3,363	▲ 131	96.1%	12,772
経常利益	3,157	3,314	▲ 156	95.3%	12,673
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,725	1,965	▲239	87.8%	6,061
EBITDA	4,492	4,840	▲ 348	92.8%	19,010
一株あたり四半期純利益	17.01	19.37	▲ 2.36	87.8%	59.75
営業キャッシュフロー	2,760	2,549	211	-	14,652
投資キャッシュフロー	▲ 1,534	▲ 6,138	4,604	-	▲ 19,325
財務キャッシュフロー	▲ 3,403	3,657	▲ 7,061	-	7,203
期末現預金残高	4,628	4,385	243	-	6,840
連結第1四半期末					
総資産	238,678	-	2,363	-	236,315
純資産	117,191	-	717	=	116,474

古万田

			日万円
	2016年度1Q	増減額	前年同期比
連結セグメント別業績			
ショッピングセンター事業			
売上高	¥ 60,964	¥ ▲ 1,761	97.2%
セグメント利益	2,873	▲ 106	96.4%
専門店事業			
売上高	5,167	112	102.2%
セグメント利益	39	▲ 65	37.7%
総合空間事業			
売上高	5,661	▲ 509	91.7%
セグメント利益	302	93	144.6%
その他の事業			
売上高	1,480	▲ 607	70.9%
セグメント利益	36	▲ 57	38.8%
合計			
売上高	73,274	▲2,766	96.4%
セグメント利益	3,252	▲ 136	96.0%
連結 (事業間での調整領	发)		
売上高	69,431	▲2,413	96.6%
セグメント利益	3,231	▲131	96.1%

- ※ EBITDAは「営業利益+減価償却費」にて算出
- ※ セグメント別の業績における売上高には、営業収入を含む
- ※ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整
- ※ ㈱パルコのエンタテインメント事業の業績は、「その他の事業」に含まれる
- ※ 事業間での調整があるため、各事業業績の合計と連結の数値は異なる
- ※ 減価償却方法は、従来は一部の有形固定資産について定率法を採用 していたが、今期よりすべて定額法へ変更

			百万円
_			前年同期比
連結主な販売費及び-	一般管理費		
人件費	¥ 2,567	¥ 35	101.4%
借地借家料	2,212	▲ 42	98.1%
宣伝費	1,152	23	102.0%
業務委託費	1,328	▲0	99.9%
減価償却費	1,260	▲217	85.3%
合計	8,301	▲133	98.4%
	_		百万円
		2016年度1Q	増減額
連結主な営業外損益			
営業外収益計		¥ 63	¥ 2
営業外費用計		137	28
	_		百万円
		2016年度1Q	増減額
連結主な特別損益			
特別利益計		-	-

474

259

205

238

109

特別損失計

固定資産売却損

固定資産除却損

単体業績·店舗営業概況

					百万円
	2016年度	2015年度	増減額	前年同期比	2015年度
	1Q	1Q			
単体 第1四半期					
売上高	¥ 60,978	¥ 63,379	¥ ▲2,400	96.2%	¥ 249,366
営業利益	2,903	3,070	▲ 166	94.6%	11,731
経常利益	2,861	3,108	▲247	92.0%	11,727
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,570	1,914	▲344	82.0%	5,932
EBITDA	4,071	4,440	▲369	91.7%	17,520

	白力片
016年度10	**/TIMU

	2016年度1Q	丽年问期比
単体 パルコ 店舗別テナント売上高		
札幌パルコ	¥ 2,941	95.8%
仙台パルコ	3,114	94.5%
池袋パルコ	6,437	93.1%
渋谷パルコ	3,767	96.2%
静岡パルコ	2,527	98.3%
名古屋パルコ	8,900	99.4%
広島パルコ	4,046	96.7%
福岡パルコ	4,726	95.1%
都心型店舗グループ8店舗 計	36,460	96.3%
宇都宮パルコ	944	83.9%
浦和パルコ	4,386	99.5%
新所沢パルコ	2,440	102.3%
千葉パルコ	1,167	85.0%
津田沼パルコ	2,116	95.1%
ひばりが丘パルコ	1,911	100.6%
吉祥寺パルコ	1,814	102.1%
調布パルコ	4,491	102.9%
松本パルコ	1,795	102.0%
大津パルコ	921	99.2%
熊本パルコ	1,196	92.2%
コミュニティ型店舗グループ 11店舗 計	23,186	98.5%
合計	59,646	97.1%
既存店計	58,848	96.9%

単体 パルコ アイテム別既存店売上高	前年同期比
婦人服	91.9%
紳士服	93.0%
衣料品総合	99.7%
衣料品計	94.9%
靴	97.9%
バッグ	101.7%
装身具	98.1%
化粧品	112.1%
身回品 計	99.5%
雑貨計	98.1%
食品	100.8%
飲食	94.0%
その他(サービスほか)	89.7%

単体 買上客数、客	単価 (既存店)		前年同期比	
買上客数			94.4%	
客単価			101.4%	
			百万円	
	取扱高	前年同期比	売上高シェア	
単体 パルコ クレジットカード概況				
クレジットカード	¥ 30,322	100.0%	44.8%	
パルコカード	15,919	102.3%	23.5%	

単体 パルコ改装状況	
改装区画数	172
内、新規出店区画数	97
改装面積	約20,000㎡
ゾーン売上高前年同期比	119.8%

単体 主な店舗のインバウンド売上実績(参考)	渋谷パルコ	札幌パルコ	池袋パルコ	福岡パルコ
海外発行クレジットカード売上高前年比	122.3%	149.4%	126.7%	133.8%
同 各店舗売上高シェア	13.1%	9.8%	2.5%	1.4%
同 各店舗売上高シェア 前年同期差	+4.0%	+3.5%	+0.7%	+0.4%

- ※ 既存店計には、名古屋パルコmidi(2015年3月27日開店)、福岡パルコ本館増床部(2015年3月19日開店) の値を含まない
- ※ 買上客数、客単価、アイテム別・改装ゾーン売上高の前年同期比、および、クレジット概況の売上高シェアは、『店舗総合売上高』による 『舗総合売上高』とは、店舗の総合的な販売力を表示するため、テナント売上高に、パルコ劇場などの売上高・固定賃料テナントの売上高を加えたもの
- ※ 改装概況は、渋谷パルコ、千葉パルコを除く